

◎茨木市市民活動センター
アクティブプラザ

きずな

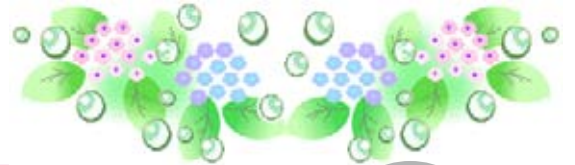
第 16 号

発行 / 茨木市市民活動センター
大阪府茨木市駅前四丁目
7 番 50 号 市民会館 2 階
TEL&FAX 072-623-8820
http://www.ibaraki-npo.jp/
Email:ibaraki-npo@cyber.ocn.ne.jp

“つなげる” “支える” “発信する”

事業報告

「学生と市民活動」



学生
フォーラム

～今、学生に求められているもの～

5月26日 追手門学院大学、梅花女子大学、関西大学の学生たちで実行委員会を結成して進めてきた「学生フォーラム」をクリエイトセンターにおいて開催しました。

当日は茨木商工会議所会頭の掛谷建郎氏の「学生における市民活動とは？」の講演に続き、立命館大学を加えた四大学の学生がそれぞれに自分たちの市民活動の実際を発表しました。

廊下には大学に加えて、茨木高校、北摂つばさ高校の活動紹介のパネルも展示され、参加者からは、今回の新しい試みに高い評価をいただきました。



茨木商工会議所会頭
掛谷建郎 氏



学生発表風景



学生発表風景

活動分野別交流会（環境）

私の「省エネと節電」物語



NPO法人とよなか市民環境会議アジェンタ21の宮田 健氏をお招きし、様々な電気製品の消費電力や、使用方法での電力消費量に差が出るなど、実際的なお話を伺いました。

結果、ライフスタイルの見直しこそが大切とのご意見に、参加者も大いに同感されていた様子でした。



宮田健 氏

「改正NPO法」勉強会を開催

2012年4月から施行されるNPO法の改正に伴い、定款の変更や登記手続き等が変更になるため、活動センターでは専門相談員による勉強会を2日間実施しました。

参加者は団体の定款を持参し、個々に相談や指導を受けることができ、好評でした。



センター専門相談員 百瀬真友美さん



登録団体の活動紹介

@茨木町家文化フォーラム

@茨木町家文化フォーラムは、町家を活かしたまちづくり活動を目的とした市民活動です。平成21年に茨木市まちづくり支援課が実施した「町家調査」に、ボランティア調査員として参加した市民が、この調査を通じて茨木にもたくさんの町家が残っていることを知り、平成22年にこのグループを立ち上げました。

これまでの主な活動は、京都や大阪市内の町家を見学に行ったり、茨木市内に残る町家の写真を撮り、様々な場所で展示したりしました。月1回の定例会で、これらの活動の企画や報告を行っています。

今後の活動予定としては、調査を継続するとともに、町家を活かしたまちづくりのアイデアを提案したり、改修や文化財登録のお手伝いなどをしていきたいと考えています。町家や日本の文化に興味をお持ちの方のご参加をお待ちしています。

★連絡先／杉山英俊 TEL 072-638-8720



四条京町家台所



茨木ふるさとの森林^{もり}づくり隊

私達の会は、平成6年(1994年)10月に、林業家の後継者不足等で里山が荒廃し、その重大さに気づいた市民が、林業支援と里山再生を目的に設立しました。

現会員は、39名(市内30名、市外9名)で、月2回の定例活動日には、毎回20～25名の参加があります。活動地のほとんどが「私有林」で、活動日には地主さんと交流する等、心地よい自然環境の下で楽しい「緑づくり」に励んでいます。

現地活動は、茨木市の銭原・上音羽・長谷・清阪等の山間部で、桧林の下刈・枝打・間伐等の「育林作業」が中心です。最近は、その利用価値がほとんど見出されないまま放置されている「雑木林(天然林)」の再生も大切と考え、野外活動センター(銭原)や竜王山(忍頂寺)で、立枯木や倒木の整理作業を意欲的に行い、キャンプ場訪問の青少年や市民の皆さんが、安全で楽しく自然体験ができるような支援活動にも力を入れています。

また、楽しい活動の一つに「林産物づくり」があります。地元で昔から伝承されて来たキノコ栽培や、栗・梅等収穫が待ち遠しい「山の幸」づくりを初め、除間伐材を活用したアイディア溢れる「木工クラフトづくり」も、その作品を市の農業祭で展示・即売して、里山環境保全活動のPRに努めています。

一度森づくりの活動を体験してみませんか。下草刈りや間伐作業を終えて帰途につく時、林床が整い、陽の差しこむすがすがしい林の姿に心地よい汗の後のそう快感と満足感がきっとあなたを包むことでしょう。18歳以上の方ならどなたでも参加できます。体力に合わせた活動で、まずは山へ足をお運びください。

★連絡先／丸岡明子 TEL 072-635-9924



センター 事業の お知らせ

●市民フォーラム

「好きやねん！ 茨木」 ～みんなで考えるこれからの茨木～

とき／24年9月29日（土）午後1時～5時

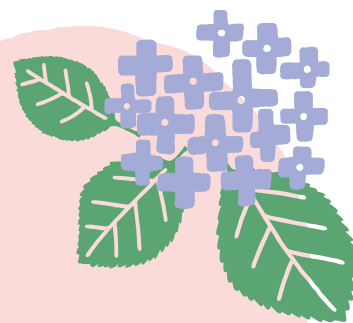
場所／ローズWAM（ワムホール・会議室）

■講演

1. 「ふるさと茨木への思い」 茨木市長 木本 保平 氏
2. 「大学と地域の活性化」（仮題）立命館大学 今村 正治 氏

■分科会（仮題）

- ①これからの街づくり
- ②元気な茨木“商業の活性化”
- ③わが町の文化遺産



●フリーマーケット開催

とき／7月14日（土）1時30分～5時

場所／市民会館1階 ドリームホール

品物／日用品・衣類・手づくり作品・新鮮野菜

- * ミニ喫茶（コーヒー）店もあるヨ！
お誘い合わせてご来店ください。

●認知症サポーター養成講座

とき／24年7月18日（水）午後2時～4時

場所／茨木市福祉文化会館302号室

講師／茨木市保健医療課職員

定員／100名

- * 認知症について正しい知識を学びます。

●災害ボランティア・サロン開催 「みんなで語ろう」

とき／8月11日（土）10時～12時

場所／市民活動センター交流サロン

大震災復興支援の輪を絶やさないために、それぞれの活動をつなげるきっかけの場として開催します。関心のある方のご参加をお待ちしています。



●夏休み「親子工作教室」

とき／8月21日（火）午後1時～3時

場所／市民活動センター

内容／見山の自然の材料を使って作品を作ります。

- * 小学生・幼稚園児・保育園児（保護者同伴）
- * 材料費／1作品 100円

●ギャラリー展示予定

* 7月4日～21日

懐かしい「茨木神社の夏祭り」写真展

* 8月8日～21日

里山センターの作品



* 職員の移動 *

▶ 出産と転居のため退職されました。



佐々木由香さん

▶ 新しい職員です。どうぞよろしくお願ひします。

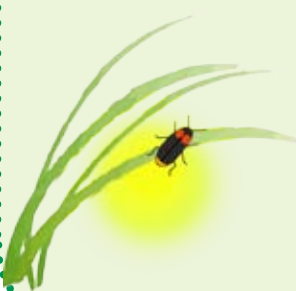


久原深雪さん

▶ 近大姫路大学インターン生



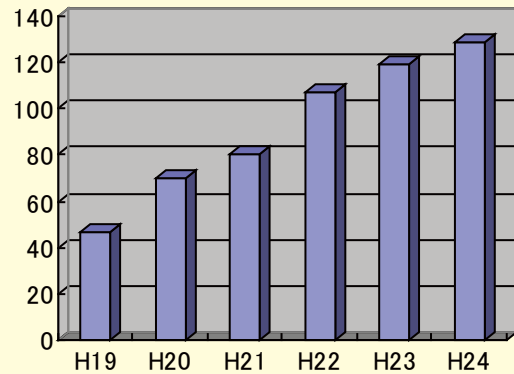
富田咲絵さん



市民活動センター 活用状況

年次別 登録団体数

年 度	登録団体数
平成 19 年 3 月	47 団体
平成 20 年 3 月	70 団体
平成 21 年 3 月	80 団体
平成 22 年 3 月	107 団体
平成 23 年 3 月	119 団体
平成 24 年 3 月	129 団体
平成 24 年 6 月	136 団体

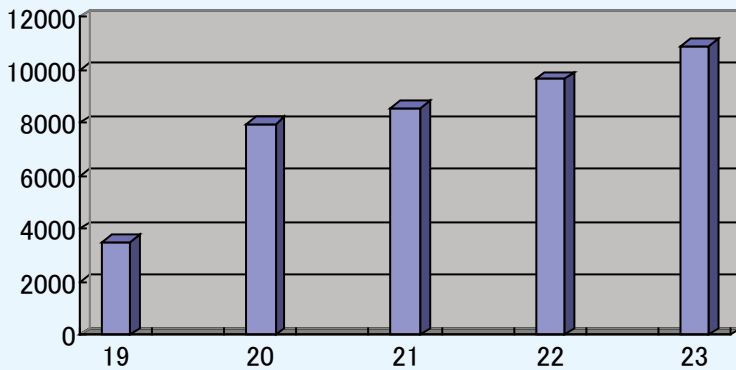


年度別センター来所者数・事業参加者数

(名)

	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	合 計
センター来所者数	3,076	5,673	5,719	5,737	6,422	15,734
事業参加者数	219	1,130	1,424	1,959	4,471	9,203
総 数	3,295	6,803	7,143	7,696	10,893	24,937

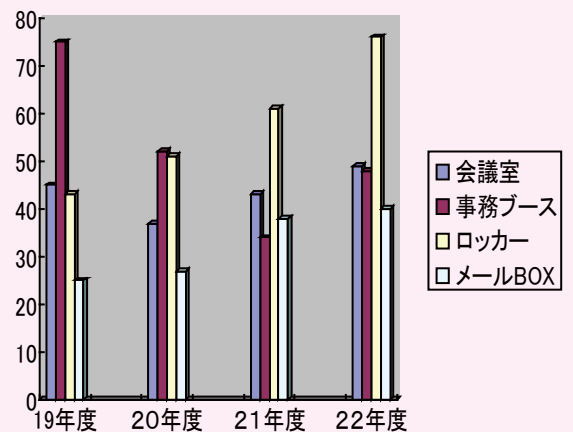
(19 年度は半期)



年度別市民活動センター 施設稼働率

施設	会議室	事務ブース	ロッカー	メールBOX
	稼働率 (%)	稼働率 (%)	稼働率 (%)	稼働率 (%)
H19 年度	45	75	43	25
H20 年度	37	52	51	27
H21 年度	43	34	61	38
H22 年度	49	48	76	40
H23 年度	76	66	75	39

(19 年度は半期)



*印刷料金一部変更のお知らせ

6月末に印刷機が新しくなります。
つきましては、24年7月よりA3紙の印刷はA4紙2枚と計算させていただきます。よろしくご承ください。

編集後記

今年度も、あっという間に3か月が過ぎました。何とか16号をお届けできて、ほっとしています。平成19年にセンターの管理運営をお引き受けしてから、毎年徐々に来場者、参加者も増えてきました。しかし、夢中で走っているうちに今度は事業等の広がりやの速度に息切れのありさまで。でも頑張るしかありません。皆さまのご支援が力です。よろしくお願いいたします。(N)